

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1271000397		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)		
所在地	千葉県茂原市高師2144-11		
自己評価作成日	平成24年1月31日	評価結果市町村受理日	平成24年4月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo.chibakenshakyo.com/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座6-5-12 みゆきビルbizcube7F		
訪問調査日	平成24年2月10日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

春より地域の清掃に毎週参加していきたいと予定しているので、まずは体力作りの一環として、毎日の散歩に職員一同頑張っています。まずは外気浴から定着を図り、今では時間で散歩の様子而定着してきました。体力、筋力の向上で転倒リスクの軽減、浮腫の軽減と繋がってきています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「安心で笑顔があふれる生活を支援します」というスローガンを職員間で共有し、日々の支援の充実に取り組んでいる。職員間のチームワークも充実しており、職員に活気がある事で利用者も笑顔で明るく日々生活することができている。日々の支援では、利用者への見守りを強化し、安全に生活できるように支援している。また、利用者の要望に応じて、近隣のスーパーまでの買い物や理髪店、ホーム周辺の散歩や外食に出かけたり、納涼祭やクリスマス会の実施、近隣で開催する七夕祭りへの参加など、各種取り組みにより利用者の生活の幅を広げている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社是・経営理念・心得・ホームスローガンを職員同士共有し取り組んでいます。今年度は1歩踏み込んだ新しいホームスローガンを作り、より一層のケアの充実を目指していきたいと思っています。	「安心して笑顔があふれる生活を支援する」をホームのスローガンとして掲げ、職員間で共有している。また、法人の「社是」に関しても、職員の目につきやすい場所に掲示し、スローガンと共に共有できるよう取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	外食会等の他にまずは、ご近所の方々との交流を深める為に、毎日の散歩などで挨拶を交わしたりと身近な所から取り組んでいます。	地域の七夕まつりに利用者と一緒に参加したり、行事の際にはボランティアを招へいする等、利用者が様々な方と触れ合うことができるよう支援している。今後に向けては、地域の清掃活動への参加も検討している。	今後に向けては、近隣の地域資源を有効に活用しながら、より地域との交流が充実していく事に期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	茂原市のゴミゼロ運動の参加の他に、4月から毎週日曜日に近所のゴミ拾いを予定。その為に毎日の散歩にて体力・筋力の向上を目指しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議に出来るだけ多くの方々に参加して頂き、ホーム内の状況報告をさせてもらい、1つでも多くのアドバイスや、他の施設様で現在何に取り組んでいるのか、また感染の情報などを聞いてホームのケアの向上に繋げています。	運営推進会議には、市の担当課職員、地域包括支援センター、自治会長が参加をし、ホームの運営状況や行事報告、参加者との意見交換など2カ月に一度定期的開催している。参加者からの意見を参考にサービス向上につなげていけるよう取り組んでいる。	運営推進会議は定期的実施しているが、今後に向けては、参加者の幅を広げより多くの方々から意見を収集できるように取り組まれることに期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎回の運営推進会議に市の担当者様に参加して頂いたり、市の窓口や電話にて入居者状況を報告、相談しアドバイスを受け、サービスに反映させています。	市の担当課との連携に関しては、運営推進会議での意見交換のほか、直接窓口に出向き手続き方法の相談等を通じ、協力関係を築けるよう努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関に必要限度の施錠をしていますが、施錠時でもすぐに開けられるようになっていきます。また身体拘束について、研修の導入を行い職員1人1人の認識を高めています。	身体拘束排除のための取り組みに関する理念については契約書に明記している。また、ホーム内において、身体拘束廃止に向けたビデオを観て、職員の意識を高めている。現状玄関の施錠も含め身体拘束につながる事例は発生していない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修を行い、日々のケアの中で知らず知らずにやっていないかなど反省、対応についての話し合いを繰り返し行っています。		

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	お客様の中でも、この制度を利用されている方がいますので、職員の知識の1つとして説明させてもらっています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にきちんとわかりやすく説明させてもらっています。また質問などに対する確に答えられるように本社との連携を密にし、対応しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関、契約書の中に苦情窓口についての表記・説明はさせてもらっています。また、ご家族等の来訪時には必ず、挨拶・近況報告させて頂き、意見・要望などの収集に努めています。来訪が難しいご家族には電話にてお話させてもらっています。	ホーム内外の苦情窓口に関しては、重要事項説明書に明記し、契約時家族に説明している。また、ホーム内に意見箱を設置するほか、面会時において、直接意見を収集する等、意見や要望についてはいつでも言える環境を整えている。	家族からの意見は日常的に収集しているが、今後に向けては収集した意見等について記録に蓄積していく事も必要と考える。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	随時話が聞ける状況を作っているが、毎月の職員会議にて意見等を聞き、反映出来るように話し合いをしています。	職員からの意見の収集に関しては、毎月開催する拠点会議を通じて意見を収集しているほか、必要に応じて個別面談を実施し、職員の意見を把握している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は月1回、管理者から事業所内の報告や相談を受ける機会を設けている。それを伴い環境・条件の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内のスキルアップを利用し、法人内外の研修参加が出来るように各拠点に情報の発信をしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	営業を兼ねて同業者との交流、情報を得ています。		

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談の時に世間話を交えながら、多くの情報収集出来ように心掛けています。その中にはご本人が不安になっている事を聞き、安心できる言葉掛けをしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安、質問などを聞き、こちらで出来ることを明確に説明し、信頼して頂けるように、また、協力関係が築けるように努力しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談時にご本人、家族の希望や要望を聞き、分析させて頂き、その時の対応に繋げています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員のお手伝いをして頂く時に必ずお客様と会話をしながら楽しく出来るように、また料理などのアドバイスを頂いたりしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族からの情報や要望を頂き、その情報や要望を元にホームでの支援に組み込ませ、近況報告の中でお話しさせて頂いています。また排泄時に使う布などの提供の協力もして頂いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の協力にて外出や外泊でご自宅や行き慣れたお店などに出かけて頂いたり、ご家族の了承の下にて、ご親族や旧友の方が来訪された際は、一緒に過ごせる時間を取っています。	馴染みの人や場との関係継続の支援に向けて、家族にも協力を頂き、外出や外泊、馴染みの店に出かける事ができるように配慮し、これまでの関係が継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、共同作業などをやる際に、いつも同じ席に座るのではなく、時々席替えをし、特定のお客様だけでなく、色々なお客様との関わりを持って頂けるようにしています。		

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了時に、また連絡頂けるようにお話しています。また連絡があった時は、ご本人の近況を聞かせて頂いています。最後に近況の変化があったり、相談がある場合には連絡下さるようお願いしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話などからご本人の意向の確認をしたり、困難なお客様に対しては行動や発語により出来るだけ意向の把握に繋がっています。また、サービス担当者会議への参加などにてお話を聞かせて頂いています。	利用者の思いや意向に関しては、日常会話からの聞き取りのほか、ケアプラン作成時のアセスメントにおいて、ニーズや課題、本人の要望を抽出し、ケアプランに反映していく事で、本人本位の支援につながるよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族を始め、以前のケアマネージャーや施設などにお話を伺ったりし情報の収集に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の様子観察にて状態の把握、主治医との連携にて身体の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議に、ご家族、ご本人、関係者の方に参加して頂き、意見などを出してもらい介護計画の作成に繋げ、状態変化や要望などが出た場合、計画の変更が出来るように定期的に見直しをしています。	ケアプラン作成にあたっては、本人、家族の要望のほか、担当者会議において職員からの意見を収集し、総合的な意見を踏まえたうえで作成している。また毎月モニタリングを行い、ケアプランの達成状況を評価している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の個人記録にニーズの記載をし、日々どのような支援をしたか、また、その結果などの記入をするようにしています。職員はその記録を通し、変化などがあった場合、報告をあげて見直しに繋がっています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	皆との外出支援だけではなく、個別に隣接のスーパーなどに買い物に行ったり、お茶をいれに出掛けたりし、ケアの柔軟、充実を図っています。		

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	隣接のお店の方がに理解、協力は勿論の事、ごみステーションの掃除をしたり、本年度春よりお店の駐車場のごみ拾いを実施予定。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医による往診を隔週にて受けているが、ご家族の希望、対応により他の医療機関への受診するお客様に対し、主治医からの意見などをご家族に報告し、外来受診の充実を図っています。	利用者が適切な医療を受けられるように、提携先医療機関による往診がある。往診日以外においても担当医とは常時連絡が取れる状態である。また、専門医の診断が必要な場合には、これまでのかかりつけ医を継続することも可能である。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々お客様の状態の変化を電話等にて報告し、アドバイスを受けやすいように連携を密にしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院などが発生した場合、その医療機関に定期的に行き、担当医や看護師とお話させてもらっています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に出来る事、出来ない事の説明をしています。去年度はこのような事例がありませんでした。	重度化した場合や終末期を向かえた場合においては、ご家族、主治医と密に連携を図り対応することとしている。また、ホームとして取り組めることに関して契約時に家族に説明し、ホームの方針を早い段階で伝えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年1回の普通救急救命の講習に参加させて頂いてます。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力の下、年数回の避難訓練を実施。また市の職員の方、ご近所の方のも一緒に参加して頂き、避難場所の確認をお互いに行っています。	災害時に備え、消防署の指導を受けながら避難訓練を実施し全職員が、利用者が安全に避難できる方法を習得できるよう取り組んでいる。また、避難訓練には、地域の方にも参加を呼び掛け、協働して取り組めるよう取り組んでいる。	リビングの冷蔵庫や食器棚など転倒の危険があるものは固定する等、規模の大きい地震に備えた取り組みも必要であろう。

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に敬いの気持ちを忘れずに、言葉がけの時の目線や言葉に注意をし、相手の気分を害さないような対応を心がけています。	プライバシーや羞恥心に配慮した支援が図れるように、リーダー自らがお手本となり、支援方法や声かけについて適宜指導し、全職員が利用者に対して不適切な対応にならないよう取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段の会話の中で発した言葉を聞き流さず、やりたい事や行きたい所の希望が出た場合、実現に向けてお客様を交えて取り組んでいます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の体調や希望で入浴、散歩の変更をしたり、ゆっくりと過ごして頂く場所もご本人の希望する所でくつろいで頂いています。なので、事務所や隣の棟にて過ごされているお客様います。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容だけではなく、外のお店に行き髪のカットなどをしています。ご家族の協力の下、馴染みのお店に行かれていらっしゃるお客様もいます。また衣服と一緒に買いに行き、ご本人に選んでもらい満足を得られるように支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の時は職員が横に座り、食事内容の説明や他の会話などで楽しい時間作りをし、一緒に摂取状態、好みの把握に努めています。また食器洗いなどをして頂く際にも職員が横につき、会話を楽しんでもらいながら行って頂いています。	食事の準備や後片付けでは、利用者も参加できるような職員間で声をかけ共に実施している。食事を楽しむ工夫では、おやつを手作りで利用者と一緒に作ったり、野菜の栽培やぬか床、納涼祭でのバーベキューなどを実施している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士による献立で1日に必要なカロリーを保持し、個々の嚥下状態に応じた食事提供をしています。水分量は記録に残し、摂取量がわかりやすくする事で、水分の足りないお客様への摂取促しに繋がっています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、職員の誘導にて1人ひとり口腔ケアの実施をしている。またご家族の了承の下、定期的な訪問歯科で口腔内の検診をしています。		

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	まずは時間での誘導から始め、1人ひとりの排泄パターンを把握し、ご本人に合った時間で声掛け誘導し、トイレでの排泄に繋げています。また意思表示が難しいお客様に対しては、行動のパターンを把握し、誘導にて失敗の軽減に努めています	利用者一人ひとりの排泄状況については個人記録内の排泄状況欄に記入し、一人ひとりのパターンを共有している。日中は定時の声かけや誘導によりトイレで排せつができるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量や運動を心がけ、また、主治医と相談しながら、定期的な排便の促しに取り組んでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	目安としての入浴日はあるが、ご本人の体調や気分ですぐ変更し、希望に沿った入浴支援が出来るようにしています。また入浴時は職員が介助に入り、会話を交えゆっくりと楽しい時間と感じて頂けるようにしています。	入浴については、利用者の希望に応じ入浴できるよう支援している。入浴時間も利用者の要望に応じている。入浴中は職員も介助に入り、利用者とのコミュニケーションを深めると共に、安全に入浴できるよう支援されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜勤者より朝の申し送りでの睡眠状態の報告をもらい、その日の午前、午後の支援内容を職員で話し合い、夜間の睡眠に繋げています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師による薬の設置や薬表を頂き、その薬の効能、副作用などの確認材料としている。また薬剤師と連携をとり、いつでも相談出来るようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴などから出来る事の幅を広げ、日々の生活の充実を図り、また外出支援などで気分転換が出来るように支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日々の外出は個別ケアを中心に買い物などに行かせて頂いてます。また外出支援として、外食だけではなく季節を感じて頂ける内容も取り入れて支援の充実を図っています。	利用者の要望に応じて、近隣のスーパーまでの買い物や理髪店への外出、外食やホーム周辺の散歩など、利用者の要望に応じて、外出できるよう支援している。	

グループホームガーデンコート茂原(ユニット1)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物などに出掛けた時に、お預かりしているお小遣いから好きな物を買って頂いています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はいつでも使えるように事務所に希望時対応しています。手紙のやり取りが出来るように日々のレクリエーションで字を書く練習を取り入れています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食事のテーブルや椅子だけではなく、ソファを置き、くつろげる場所の提供をしています。また季節を感じて頂けるように装飾などの工夫に取り組んでいます。	利用者が集まるリビングには、ソファを設置するなどくつろげる空間を設けるほか、利用者が作成したぬり絵等を掲示し温かみのある雰囲気となっている。また、トイレや浴室も清潔が保たれており、転倒の危険となるようなものも放置せず、安全に且つ快適に生活できるよう努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関や廊下に椅子を置いたり、談話室の整理、整頓をし、お客様が過ごしやすい空間の提供をしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具の設置などをご家族の方にお願ひし、その他にお客様自身が好きな物を飾って頂いています。	居室には使い慣れたものを持ち込んで頂く事で、利用者が居室内においても居心地良く生活できるよう取り組まれている。居室は広いスペースであるが、広いスペースを有効的に活用されているほか、家具類はビス止めし、地震等による転倒を防止し、安全に生活できる空間となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	環境整備を行い、移動時の安全確保をし、自立のお客様が他のお客様に気兼ねせず行動が出来るようにしています。		